

求む！目撃情報

特定外来生物 カナダガンを探しています。

特定外来生物とは、生態系・農林水産業・人へ特に大きな被害を及ぼすか、その恐れがあるため、外来生物法により、輸入・移動・飼育・野外へ放つことが禁止されています。



カナダガン目撃情報提供のお願い

カナダガンは北米の鳥。飼育鳥として輸入されたものが、飼育管理の不備などから野生化し、30年足らずで約100羽にまで増えてしまいました。野外でガチョウとの交雑個体も生まれており、在来種シジュウカラガンとの交雑が危惧されています。

2010年から民間グループなどが鳥と卵の防除(取り除き)を進めた結果、2015年12月にこれまで把握できていた個体のすべての防除が完了しました。鳥は、飛んで移動できるので、1羽〜数羽の小さな群れがどこかにいるかもしれません。

野生化したカナダガンを防除することは、シジュウカラガンなどとの本来自然界では起こらないはずの交雑リスクの低減や、農作物への被害が大きくなるうちに初期の段階で予防するため必要なことです。これ以上、人間の都合でかわいそうな鳥を作らないためにも確実な野生下からの除去を目指しています。情報提供にご協力をお願いします。



特定外来生物 カナダガン

「外来種」

もともと日本に生息しないが、飼育鳥が野生化して各地に分布している。

似ているけれど、違うのです。

シジュウカラガン

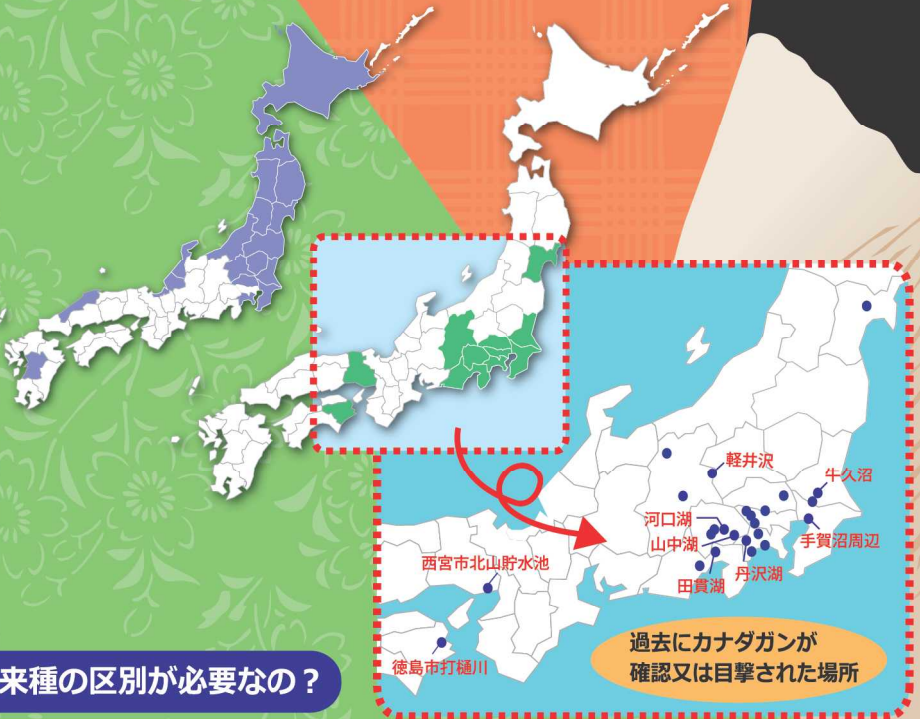


「在来種・絶滅危惧種」

古来より冬になると定期的に日本へ渡来していたが、絶滅の危機に瀕している。

シジュウカラガン

カナダガン



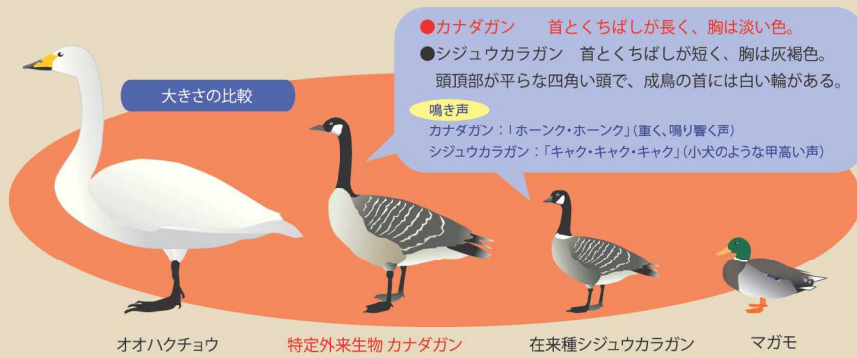
なぜ在来種と外来種の区別が必要なの？

シジュウカラガンは千島列島で繁殖し、江戸時代から日本への多数飛来が記録されている「在来種」です。しかし、20世紀初頭に繁殖地の島に放されたキツネのため、絶滅の危機に瀕し、種の保存法に基づき指定される「国内希少野生動植物」や、環境省レッドリストでは、絶滅の危険性が極めて高い「絶滅危惧ⅠA類」に指定されています。その数を回復する事業が、国際民間協力で1982年に始まり、2014/15冬期には、1,000羽を超え、生息域も広がり始めました。

一方、人間が日本へ持ち込み野生化した外来種で、シジュウカラガンに似た大型のカナダガンが、富士山周辺から次第に日本各地に分布を広げてしまいました。両者は似ていますが、その由来が全く異なる鳥です。日本では、手厚い保護が必要な「在来種・絶滅危惧種」のシジュウカラガンと、野外からの速やかな除去が必要な「特定外来生物」のカナダガンとを区別して適切に管理をしていくことが必要になるのです。

裏面も見てくださいね！

カナダガンは、シジュウカラガンよりも首とくちばしが長く、身体も大きい。



特定外来生物 カナダガン ▶

▼在来種シジュウカラガン



カナダガンを見ました！

特定外来生物 カナダガンを目撃したときには、下記に情報をご記入のうえ FAX をお送りください。

・野外にいるカナダガンが放し飼いが野生化個体かは、不明でもかまいません。

・放し飼いのガチョウなどと交雑し、雑種のコドモが生まれていることがあります。雑種かも？と思われる場合、できるだけ写真を添えてお送りください。

ファックス



FAX : 0465-23-8846

神奈川県立生命の星・地球博物館

加藤ゆき宛

メール



E-mail : katoy@nh.kanagawa-museum.jp

1. 目撃した人 (個人情報とは本調査の目的以外に使用しません。)

お名前 (ふりがな)

所属

電話 or メールアドレス

2. 目撃した日時

年

月

日

時

分

3. 目撃した場所 (詳しい地名や、目標物など)

地図または位置情報 (緯度経度) ありましたらお送りください。

(都・道・府・県)

(市・町・村)

(湖・川・その他 :

)

付近

目撃したカナダガンの数

羽

写真 (有・無)

4. 観察した行動などを自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

表面も見てくださいね！